

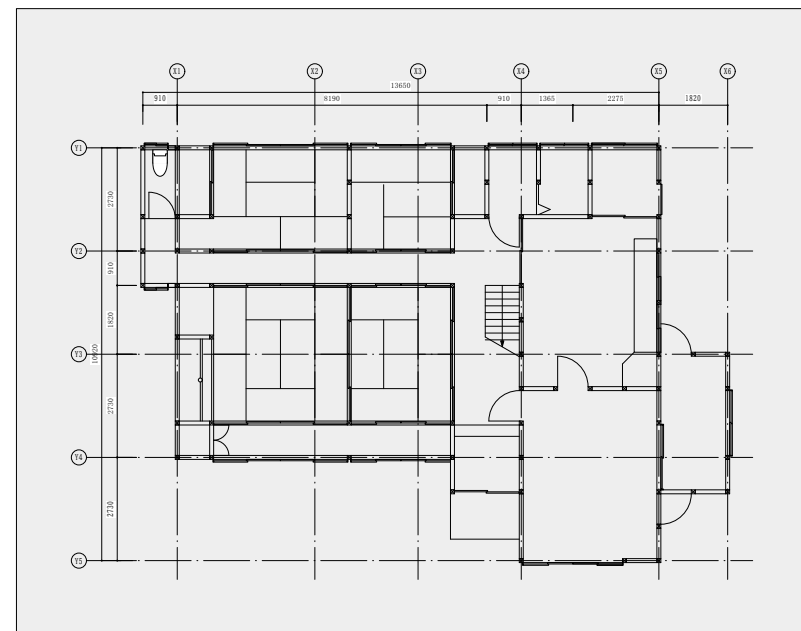
今回の敷地は三重県松阪市の駅近くにあります。歩いて駅までは五分ほどです。対象の建築の北側に交差点があり、道路の大きいほうは三重県道24号という主要地方道である。歩いて十分間以内ほど薬局、コンビニ、肉屋、公園、幼稚園、小学校などの施設があって、生活に便利です。

近年、「地方移住」、「多拠点居住」の考え方が普及しつつある。その理由には、都市での大きな経済活動から逃れるため、家族の面倒を見ながら生活するため、自然の多いところへ生活をするためなど、さまざまな理由が考えられる。昨今のパンデミックによって、リモートワークも普及し、地方で生活することに拍車がかかった今、地方の住宅にどのような可能性があるかを探りたいと思う。

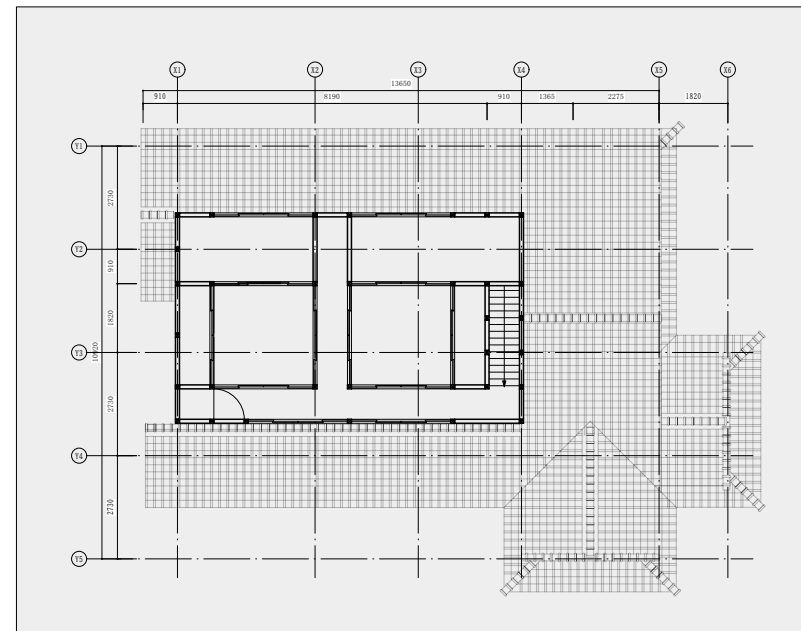




■ 既存平面図



既存1F平面図



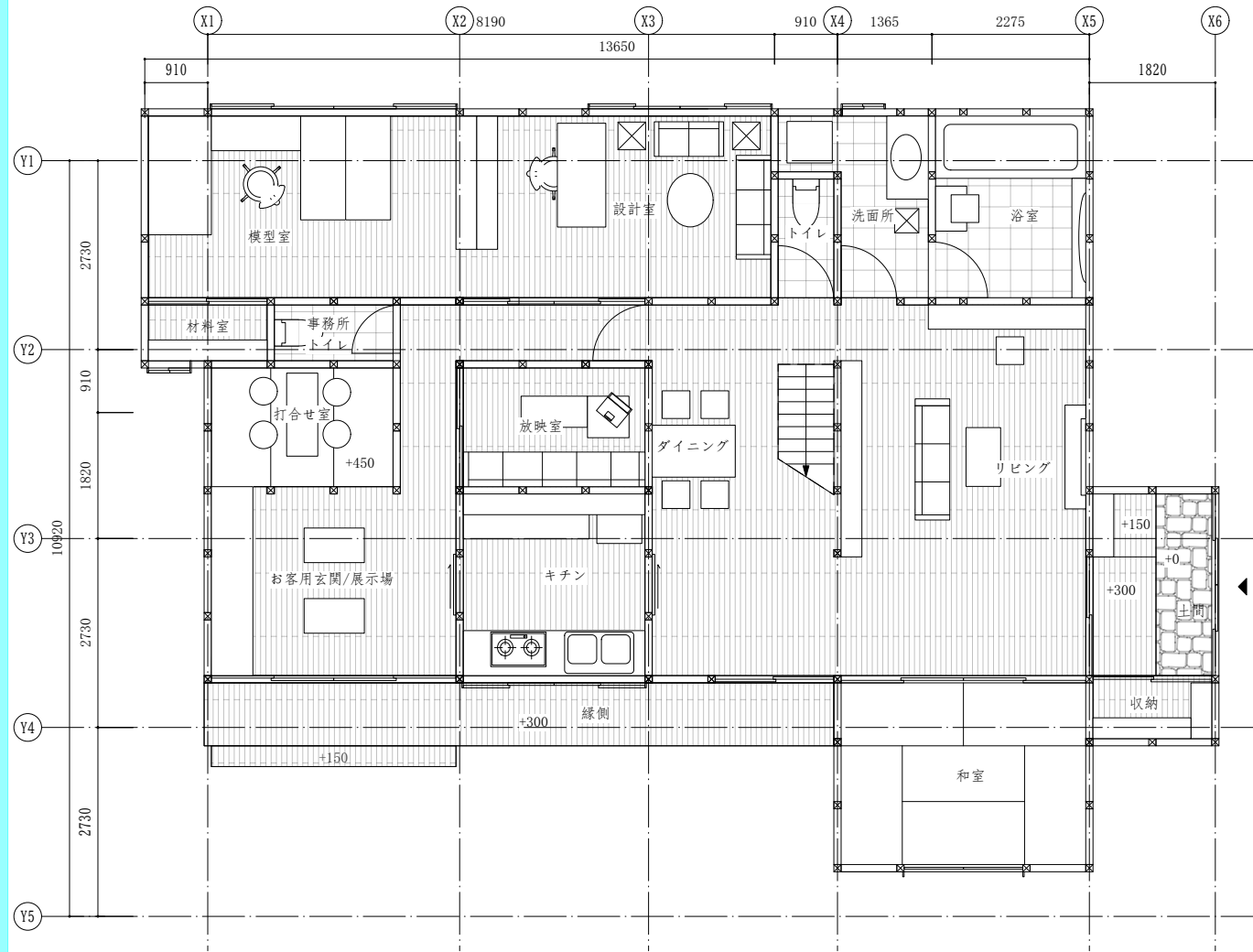
既存2F平面図

敷地には夫婦が二人で住んでいる。敷地内には夫婦の母屋、以前祖父の住んでいた住宅、夫が作業場所として利用している小屋が分棟して建っている。今回は、その中の祖父母の住んでいた住宅を中心に改修の計画を行います。祖父母の家は木造二階建てで、現在は利用されていない。

この建物を中心に、家族全員が使えるような住宅+αの機能をもった「セカンドルーム」を提案する。

敷地内に住んでいる夫婦にとっては、普段の生活に加えられた、敷地内別荘のような使い方ができるかもしれない。遠方に住んでいる子供夫婦にとっては帰郷した時に利用したり、都会で働いている娘にとってはリモートワークをしに多拠点居住の拠点として利用することも考えられる。娘の仕事によって機能を変わせることも可能です。

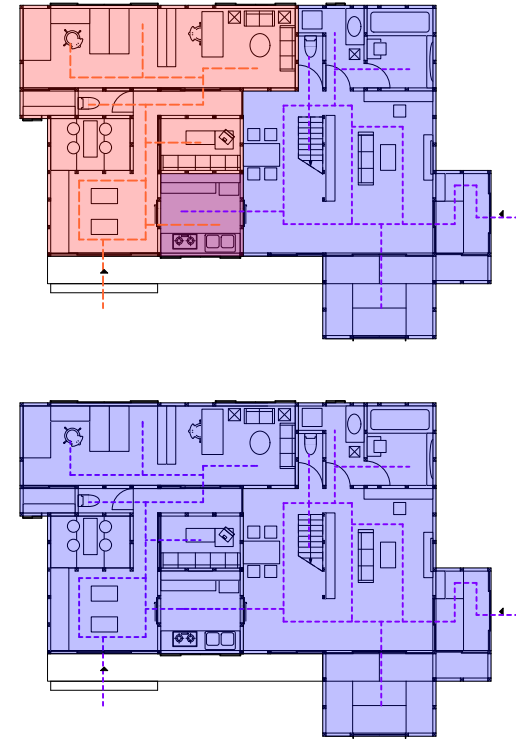
■ 一階平面図



■ 壁の詳細図



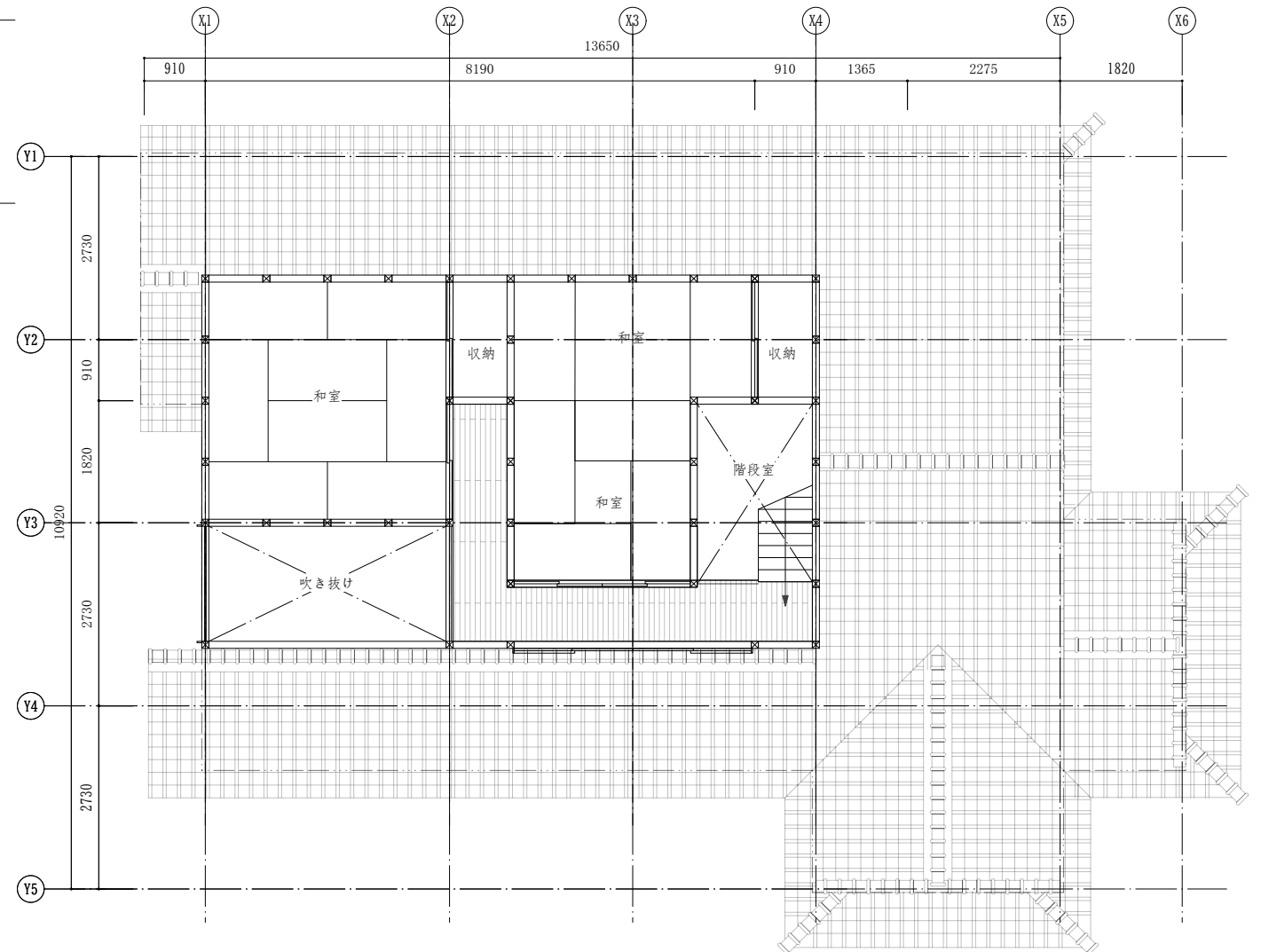
■ ゾーニング図



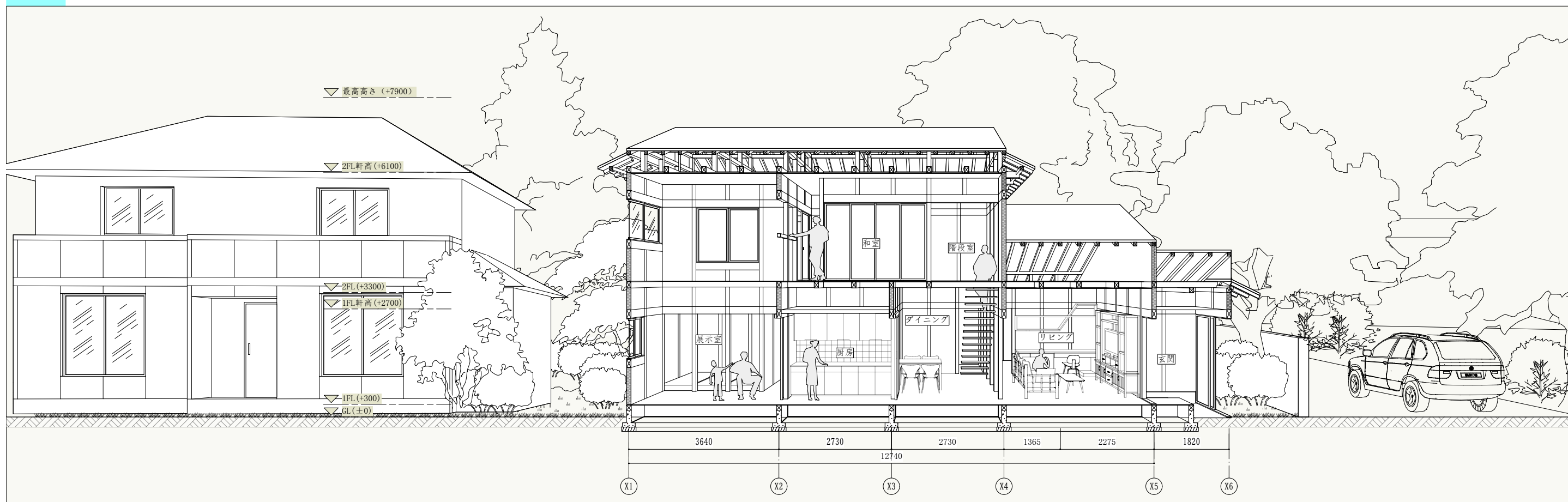
■ コンセプト文

一階は二つの空間があります、東方向は設計事務所で、お客さん来る時に南北の二つのドアを閉めると、生活と仕事を独立の二つのスペースになることは可能です。プライバシーのために、キッチンが平日に家族用だけでなく、お客さんが来る時にお菓子とかお茶でもなどを用意するときもあります。お客さんと家族の動線を分けるために西向けにお客さん用入り口を設けて、東方向に家族玄関を設けました。

■ 二階平面図

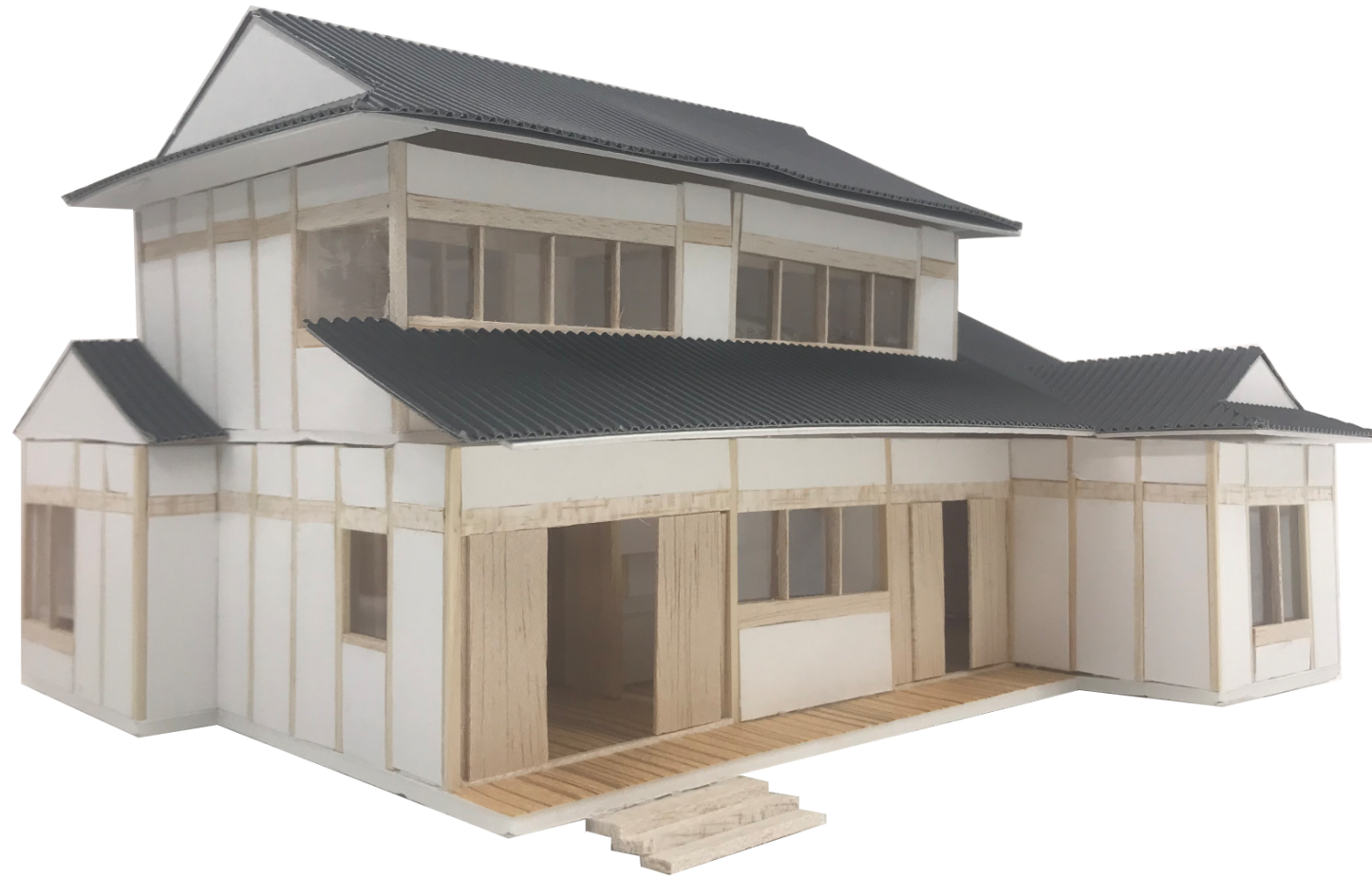


■ 断面パース



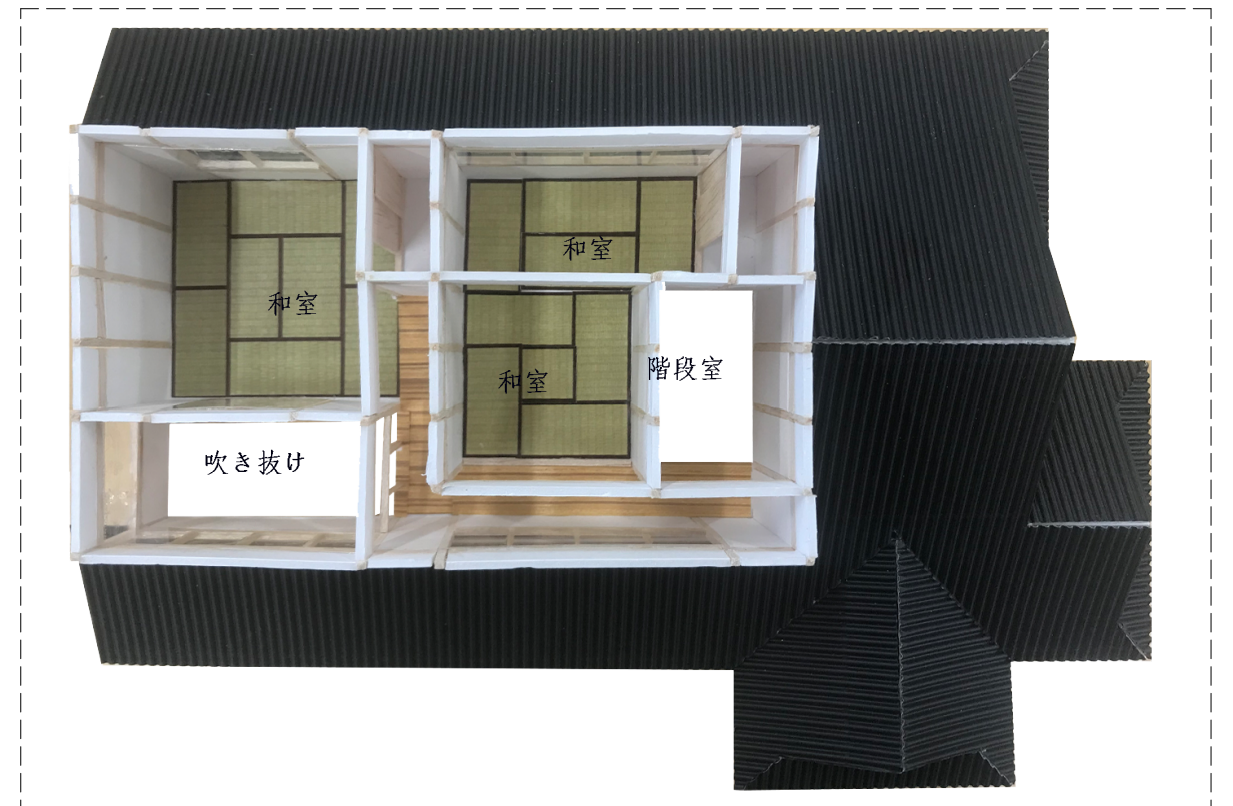
SCALE:1/100

■ 外観パース

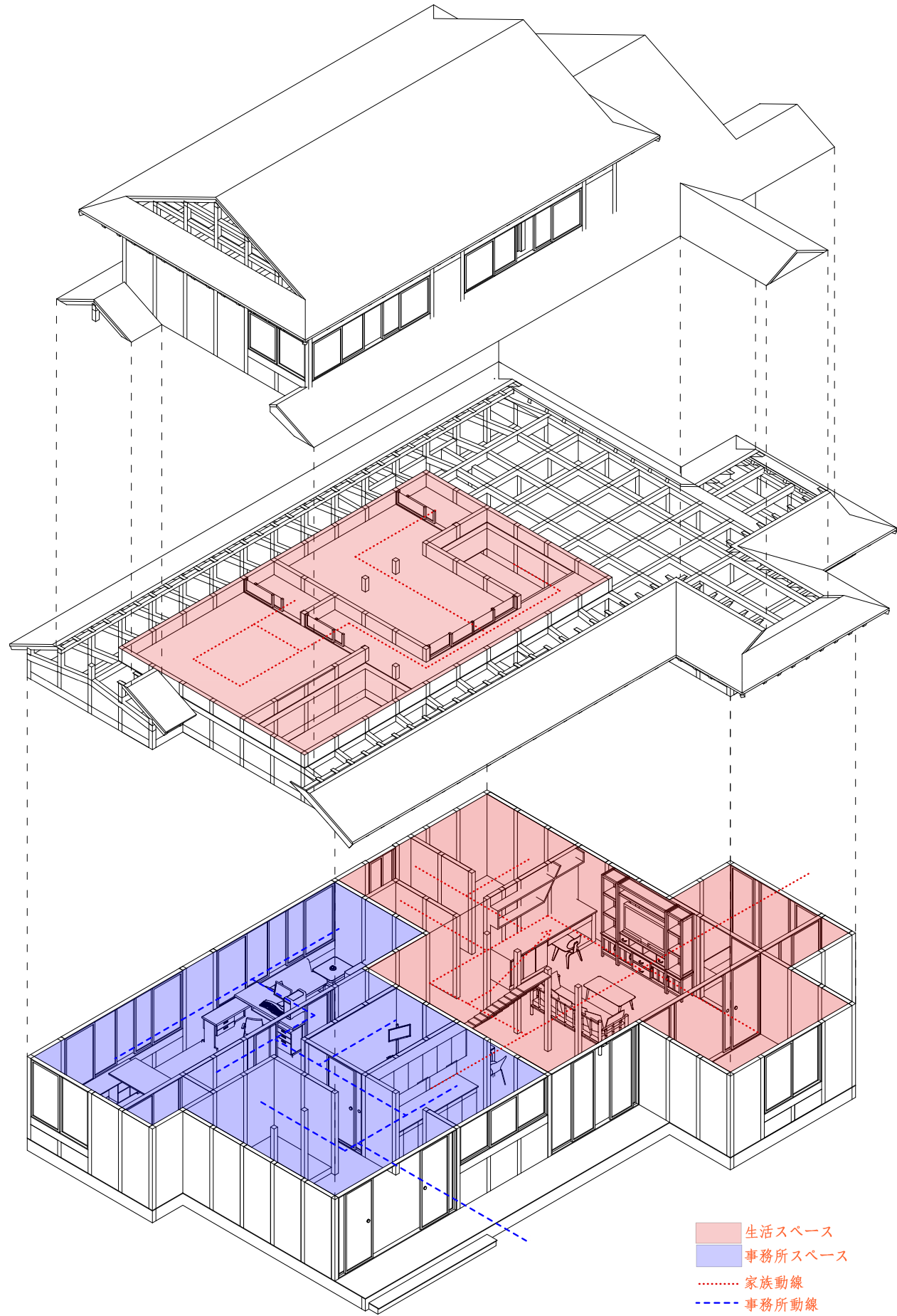


既存の屋根の見た目は美しく、延べ面積も三人使えるスペースとしては結構ですので、建築の外観をそのまま維持しました。

■ 平面図パース



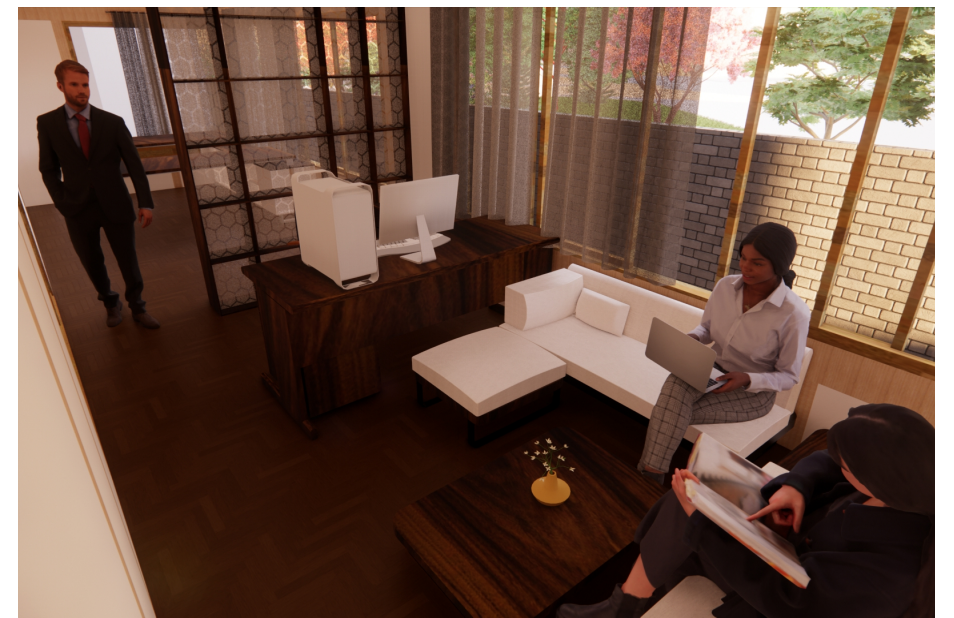
■ アクソメ



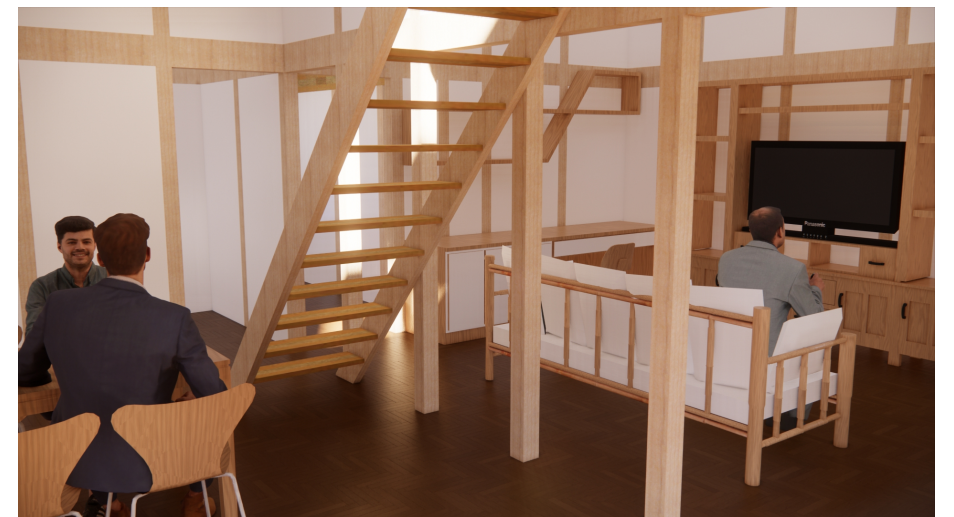
■ 内観パース



設計室



設計室



リビングルーム